鎌倉市 土砂災害ハザードマップ

腰越・深沢地域

普段から備え

ハザードマップを活用して避難行動を考えよう！

いざ災害時に

命を守る行動

風水害時に取るべき行動

テレビやインターネットなどで情報を確認！

気 気象情報　川 河川水位情報
土 土砂災害情報　避 避難情報

※立退き避難（水平避難）と屋内安全確保（垂直避難）の判断は右の「避難の心得」をご覧ください。

避難判断は自分で！
土砂災害が始まる前に避難！
現在開設中の避難所を確認

避難情報の収集または自主避難

自宅待機が可能

自宅の外へ避難（立退き避難）

自宅内に待機（屋内安全確保）

必要性を感じたら避難

市の避難所

以下の避難所は状況に応じて開設します。

○指定避難所（ミニ防災拠点）
○補助避難所（予備避難所）
○風水害等避難場所

自宅で生活が可能

自宅へ

避難の心得

避難行動とは

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難（水平避難）」と、自宅の２階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保（垂直避難）」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難（水平避難）

土砂災害（特別）警戒区域内で、特にがけ近辺に自宅のある方は下記の「情報の入手先」を参考に情報を入手し、立退き避難を心がけましょう。立退き避難（水平避難）は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保（垂直避難）

屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり２階へ移動するなど、屋内安全確保（垂直避難）をしましょう。

立退き避難の心得

●警戒レベル3で高齢者等は避難を！
立退き避難は、天候が荒れる前に行うことが大切です。市から警戒レベル３相当の情報が発表されたときに、速やかな避難行動をとりましょう。

●避難判断は自分で！
気象庁や市からの避難情報などの防災情報をもとに、自主的な避難行動を心がけましょう。

●移動手段は徒歩で！
車は故障や渋滞、災害の状況によっては動かなくなるおそれがあります。

逃げ遅れたら

斜面から離れた部屋や、2階の部屋に移動して、自分の身を守る！

その他避難時の留意事項

●避難時は動きやすい服装で！
特に靴は歩きやすい運動靴で。長靴は水が入るとかえって歩きにくくなります。

●移動は二人以上で！
一人だといざという時に助け合えません。

●夜間の避難は要注意！
夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。

●非常持出品を準備して避難！

立退き避難を判断する情報（土砂災害の危険度分布）

警戒レベルは、テレビやラジオ等で発表されますが、土砂災害の危険度に関する情報は気象庁や神奈川県のホームページで確認できます。

神奈川県土砂災害警戒情報システム

神奈川県土砂災害警戒情報システム　検索　で検索し、「土砂災害の危険度を見る」を選びます。

https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/php/map.php?mapmode=kuiki

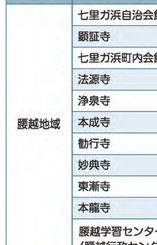
土砂災害の危険度は、4段階の色で表示されます。

土砂災害の前兆現象

土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があります。

近年、「集中豪雨」や「局地的大雨」が増えていますが、これらが発生した時は土砂災害の危険性も高まるので、特に注意が必要です。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）



・がけから水が湧き出ている
・普段湧んでいる湧水が濁ってくる
（地盤の内部に新たなみの通り道ができた、または大量の地下水が流れたことで崩壊が広がったために見られる現象です）

がけに亀裂ができる
（地表水の浸透や地下水の湧出、樹木の根の伸長等により、割れ目の結合力が緩まっているために見られる現象です）

がけから小石がパラパラ落ちてくる
（がけ表面の中で結合が弱い箇所から起きる現象です。頻度が多いとがけ崩れの発生の可能性が高まります）

土石流

立木の裂ける音や大きな岩の流れる音が聞こえる
（大きな岩同士がぶつかる音や立木の折れる音などが、下流まで聞こえることがあります）

急に川の流れが濁り、流木が混ざる
（上流で発生した土石流が原因で、川に流入した土砂や樹木が下流へ流れてきたときに見られる現象です）

雨が降り続いているのに川の水位が下がる
（上流で崩れた土砂により川を塞ぐ天然ダムができ、川の水を貯めているために見られる現象です）

前兆現象に気づいたら、周囲の人にも伝え、直ぐに避難をすることが大切です。

風水害時のわが家の避難行動（マイ・タイムライン）

家族でハザードマップを使い、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動（マイ・タイムライン）」について話し合い、必要事項を記入・コピーして共有しましょう。

■わが家の連絡先、避難の際に必要な情報を記載しましょう。

名　前	電話番号	必要事項（常備薬等）

避難の際、支援してくれる人
名前:
電話:
住所:

必要項目に記載し、□にチェックしましょう。

■ハザードマップを見て自宅周辺を確認

自宅は洪水浸水想定区域内にあるか　□ある　□ない
自宅は洪水による家屋流失のおそれのある区域内にあるか　□ある　□ない
洪水浸水深は:　m　浸水継続時間は:　時間
自宅は内水氾濫浸水想定区域内にあるか　□ある　□ない
自宅付近に道路冠水箇所はあるか　□ある　□ない
自宅は土砂災害警戒区域内（急傾斜地、土石流）にあるか　□ある　□ない

■避難するタイミング、避難する場所　実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。

● 風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入手したりわが家は、
□自宅に待機し、状況に応じて垂直避難します。（※ぐやみに外出せず、情報収集に努める）　□　へ水平避難します。（指定避難所、親戚・知人宅など）　移動時間:
● 水平避難の途中で危険を感じたら、　へ緊急的に垂直避難します。　移動時間:

※内水氾濫、土砂災害、洪水は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう

平常時

雨風が強くなる前

避難行動を開始

あの安全を確保すべき時間

	鎌倉市の情報	（参考）気象庁等の情報
警戒レベル2		■台風情報 河川氾濫が想定される大規模な台風等 ■台風に関する気象情報 情報の入手先は裏面の「情報の入手先」をご覧ください。 ■大雨注意報 ■洪水注意報 ■氾濫注意情報
警戒レベル3	■高齢者等避難	■大雨警報 ■洪水警報 ■氾濫警戒情報
警戒レベル4	■避難指示	■氾濫危険情報 ■土砂災害警戒情報
	ここまでに避難を完了する！	
警戒レベル5	■緊急安全確保	■大雨特別警報 ■氾濫発生情報

被害を軽減するために、また避難するために必要なことをまとめましょう。

Point　「1階が浸水する場合、家財を2階以上に上げる。」「浸水被害を防ぐために土のうを用意する。」などとめましょう。

避難する際の注意点を家族で考えましょう。

Point　避難のタイミングは、早めに！
逃げ遅れがないよう、安全ひをおそれず早めの避難を心がけましょう。

もしも逃げ遅れたら…災害がすでに発生しています。命を守るための最善の行動をとる!!
外に避難することがかえって危険な場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で安全を確保してください！

鎌倉市防災・安全情報メール
市では、気象庁の発表情報や市の防災情報などを、携帯電話やパソコン等へ電子メールで配信するサービスを行っています。
【登録方法】左のQRコードからサイトへアクセスし画面の指示に従って登録を行ってください

鎌倉市 市民防災部 総合防災課
https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/
〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10
TEL0467-23-3000（代表）内線 2614/2615

作成 2022 年 1 月

風水害時の情報と行動の目安

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報	（参考）気象庁等の情報		
警戒レベル5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報	キキクル （危険度分布）	氾濫発生情報
		＜警戒レベル４までに必ず避難！＞				
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報	極めて危険 非常に危険	氾濫危険情報
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	警戒 （警報級）	氾濫警戒情報
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認		大雨注意報 洪水注意報	注意 （注意報級）	氾濫注意情報
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める		早期注意情報 （警報級の可能性）		

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるよう気象情報に「警戒レベル○（3～5）相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、　市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

情報の入手先

各情報源から入手できる情報　気 気象情報　川 河川水位情報　土 土砂災害情報　避 避難情報

テレビ ラジオ	気 川 土 避	テレビ　ケーブルテレビ（J:COM湘南・鎌倉） ※dボタンを押すと情報を確認できます。 ラジオ　鎌倉エフエム放送（82.8MHz）
メール （携帯電話など）	気 川 土 避 登録必要	鎌倉市防災・安全情報メールサービス https://service.sugumail.com/kamakura/ 【登録方法】 左のQRコードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録を行ってください
	気 川 土 避 登録不要	携帯電話事業者 緊急速報メール 携帯電話事業者により、気象庁、各省庁、地方公共団体等が配信する災害情報が携帯電話に自動的に配信されます。
インターネット	気 川 土 避	鎌倉市ホームページ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/
	気 土	神奈川県土砂災害情報ポータル http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/
	気 川 土 避	気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/jma/index.html
	川	国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/
防災行政用無線	気 避	緊急時の避難情報や気象情報、災害情報等の迅速な発信を行います。0120-24-0467（無料） （補完対策：消防テレホンサービス）防災行政用無線の放送内容を電話で確認できます。

土砂災害警戒情報

大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼすほどの土砂災害の危険性が高まったとき、市が発令する避難指示などの判断や、住民が自主避難を行う判断の参考となるように、神奈川県と横浜地方気象台が共同して発表する防災情報です。

土砂災害の危険が高まっている詳細な領域については、大雨警報（土砂災害）の危険度分布を確認してください。

周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難をお願いします。

土砂災害からの避難

もし逃げ遅れたら…　屋外への避難が困難な場合、斜面から離れた部屋や2階の部屋に移動して、自分の身を守る！

雨の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量（mm）	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
状　況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

風水害時の避難施設（腰越・深沢地域）

【拠点】 指定避難所（ミニ防災拠点）

風水害等の災害が発生するおそれがある場合など、住民等への危険が切迫した際に、早期の段階で開設する避難所で、市立の小・中学校を指定しています。

地域	名称	所在地
腰越地域	腰越小学校	腰越 5-7-1
	西鎌倉小学校	津 1069
	七里ガ浜小学校	七里ガ浜東 5-3-2
	腰越中学校	腰越 4-11-20
深沢地域	深沢小学校	梶原 1-11-1
	富士塚小学校	上町屋 810
	山崎小学校	山崎 2500
	深沢中学校	梶原 1-14-1
	手広中学校	手広 5-7-1

【補助】 補助避難所（予備避難所）

必要に応じて市の判断で開設される避難所であり、国・県立及び私立の学校等を指定しています。

地域	名称	所在地
腰越地域	県立七里ガ浜高等学校	七里ガ浜東 2-3-1
	県立鎌倉高等学校	七里ガ浜 2-21-1
深沢地域	県立深沢高等学校	手広 6-4-1

福祉避難所

一般の避難所で共同生活が困難な要配慮者が避難する施設です。

地域	名称	所在地
腰越地域	腰越なごやかセンター	津西 1-7-7
深沢地域	教養センター	笛田 2-17-1

【風水害】 風水害等避難場所

大規模災害が発生又は発生が予想される場合に、状況に応じて市が判断し、指定避難所（ミニ防災拠点）や補助避難所（予備避難所）に加えて開設する避難所です。

地域	名称	所在地
腰越地域	七里ガ浜自治会館	七里ガ浜東 4-1-4
	顕証寺	七里ガ浜 1-5-21
	七里ガ浜町内会館	七里ガ浜 1-1-18
	法源寺	腰越 5-1-17
	浄泉寺	腰越 2-10-7
	本成寺	腰越 2-19-9
	勧行寺	腰越 2-19-15
	妙典寺	腰越 2-20-5
	東漸寺	腰越 2-22-13
	本龍寺	腰越 2-26-2
	腰越学習センター（腰越行政センター内）	腰越 864
腰越地域	西鎌倉住宅地自治会館	西鎌倉 4-15-16
深沢地域	手広公会堂	手広 1-15-1
	手広西公会堂	手広 4-13-8
	青蓮寺	手広 5-1-8
	笛田公会堂	笛田 3-33-22
	打越公会堂	笛田 5-36-14
	深沢学習センター（深沢行政センター内）	常盤 111-3
	常盤公会堂	常盤 621-4
	上町屋町内会館	上町屋 616
	山崎集会所	山崎 1527